

株主のみなさまへ

第126期 報告書(中間) 2023年1月1日～6月30日



目次

- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|----|
| ● 株主のみなさまへ | 2 | ● セグメント別業績の概要 | 7 |
| ● 特集1 長期経営計画「DIC Vision 2030」進捗状況 | 3 | ● 連結財務諸表等 | 8 |
| ● 特集2 再生可能エネルギーの導入・
CO ₂ 排出量削減に向けた取り組みについて | 4 | ● DIC企業ブランドCM 新シリーズ
「化学を超える。」を放送中 | 9 |
| ● 連結業績ハイライト | 5 | ● DIC川村記念美術館のご案内 | 10 |
| ● セグメント別業績 | 6 | ● 会社概要・株主メモ | 11 |

株主のみなさまへ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

昨今、新型コロナによる社会への影響は落ち着き始めましたが、地政学的リスク、米国や欧州でのインフレ対策としての金融政策が与える景気動向への懸念、環境・エネルギー問題等、企業は対処すべき様々な課題に引き続き直面しています。

こうしたなか、当社は長期経営計画「DIC Vision 2030」の2年目として、株主利益を包摂する社会的利益を追求し、長期的企業価値の向上を目指すべく、5つの重点事業領域*を中心に、事業ポートフォリオの変革と、カーボンニュートラル社会の実現に向けたサステナビリティ戦略を一層推進しています。その具体的な施策として、今年6月にカナダの半導体フォトレジストポリマーメーカーPCAS Canada Inc.社の買収を行い、半導体を中心とした社会のデジタルイノベーションに貢献するための事業基盤を整えました。今後も基本戦略に沿った施策を着実に実行し、社会の持続的繁栄をもたらす企業としての存在価値を高めてまいります。

2023年6月30日をもって、当社第126期における第2四半期までの営業が終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

連結業績のご報告

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期比1.2%減の5,153億円でした。各地域において不透明な事業環境が続くなか、金利情勢や景気減速への懸念などから、様々な業界分野において需要の伸び悩みや在庫抑制の動きが見られました。その結果、ファンクショナルプロダクツを中心に高付加価値製品の出荷数量が減少したことに加え、欧州における景気減速の影響により、顔料製品の出荷が落ち込みました。

営業利益は、前年同期比58.4%減の100億円でした。各セグメントにおいて、コスト増加分を中心に価格対応に努めましたが、数量減の影響を補えず、減益となりました。経常利益は、前年同期比72.7%減の71億円でした。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比93.1%減の10億円でした。

通期の連結業績見通しと配当金

欧州の景気減速、エレクトロニクス市場の低迷、自動車市場における在庫調整の遅れなどにより、厳しい事業環境が続くものと見られます。

このような状況の下、当社はコストの増加に対し、各地域及び製品で価格対応に引き続き取り組みますが、全般的な出荷数量の影響により、増収減益を見込んでいます。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、連結業績、配当性向などを総合的に勘案し、継続的且つ安定的な配当を行うことを基本的な方針としています。

当期の配当につきましては、この基本方針を踏まえ、当社を取り巻く経営環境、今後の経営成績・財務状況などを総合的に勘案し、慎重に検討した結果、中間配当につきましては1株当たり50円を実施し、期末配当につきましては、誠に遺憾ではありますが、1株あたり30円とすることを予定しております。早期の収益回復に向けた対策を進めてまいりますので、株主の皆様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
社長執行役員

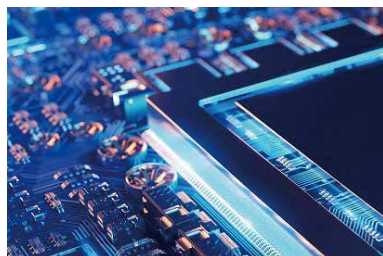
猪野 薫

事業ポートフォリオの変革とサステナビリティ戦略を更に推進

長期経営計画「DIC Vision 2030」で当社は、2つの基本戦略「事業ポートフォリオの変革」と「サステナビリティ戦略」を軸に、事業・地域の補完を目的としたM&A・拠点拡大や社会課題解決に貢献する新製品の市場展開・拡販に引き続き取り組んでいます。

1 カナダの半導体フォトレジストポリマーメーカーを買収

当社は、カナダで半導体フォトレジストポリマーの製造・販売を営むPCAS Canada Inc.社（買収後、社名をInnovation DIC Chimitroniques Inc.（以下「IDC社」）に変更）の全株式を取得しました。本買収は、DIC Vision 2030で掲げた5つの重点事業領域のうちの「スマートリビング領域」で、デジタル化により進化・発展する暮らしにおいて、化学的ソリューションを通じた新しい生活体験を提供することを目的に実施されました。



半導体市場は世界的に成長を続けており、IoT、ビッグデータ、人工知能といった新たな情報技術の開発・普及にあたり、その重要性はますます高まっていくと予想されています。こうしたなか、当社は長期経営計画「DIC Vision 2030」で

掲げたデジタル社会への貢献に向けて、半導体の製造工程に欠かせないフォトレジスト材料の事業拡大をデジタル分野の重要戦略の一つに位置付け、最先端の半導体フォトレジストポリマーの開発に取り組んできました。

今回買収したIDC社は、カナダに生産拠点をもち、半導体フォトレジストポリマーに求められる低金属化・高純度化を実現する優れた製造技術と量産ノウハウを有しています。この製造技術と、当社の強みである合成技術を融合することで、技術革新が継続する半導体市場のニーズに応え、社会のデジタルイノベーションに貢献することを目指します。

2 肌と気持ちに寄り添う“感性スキンケア”ブランド『fillwith』が新登場！

当社は、変化していく肌に、自然と感性の力を与え、肌と気持ちに寄り添う“感性スキンケア”ブランド『fillwith（フィルウィズ）』を立ち上げ、2023年2月1日より公式オンラインショップにて、順次発売を開始しました。

当社は、化学の領域に留まらない幅広い価値を提供し、社会変革に対応した製品や社会課題の解決に貢献する製品の開発にグループ丸で取り組んでいます。重点事業領域のうち「ヘルスケア領域」では、40年以上続く食用藍藻類スピルリナ事業で培った藻類培養技術をベースに、健康食品や食用色素、食品素材、飼料分野など藻類事業のポートフォリオを拡大しています。こうしたなか、当社は日本オリジナルの化粧品原材料「スイゼンジノリ^{*1}細胞外多糖体」（商標名：サクラン^{®*2}）の自然由来で高い天然保湿力と滑らかでしっとりする触感に着目し、確かなスキンケア機能を持ち、且つ感性に働きかける商品として『fillwith』を開発しました。

『fillwith』は、肌と気持ちに寄り添う“感性スキンケア”ブランドです。肌をうるおすと同時に、見て、触れて、香りを感じるにより、五感にやさしく波及。その一瞬一瞬を慈しむ気持ち、肌が包み込まれる心地よさとともに、心も身体も満たされるひとときを彩ります。



*1 スイゼンジノリは日本の限定された地域（九州の阿蘇山系の伏流水）にしか生息していない非常に珍しい藍藻です。近年では様々な環境変化の影響で収穫量が減少する傾向にあります。

*2 サクランはスイゼンジノリから抽出した超高分子量多糖類で、ヒアルロン酸の5倍以上の保水力を持つ高い保湿性に加え、バリア性、抗炎症効果にも優れています。



1 ～再生可能エネルギー由来電力への切り替えを進めています～

国内32拠点（本社、支店、工場、研究所など）において、小売電気事業者が提供する「グリーン電力」*1およびCO₂フリーとなる環境価値を持つ「非化石証書」*2の導入を決定しました。

これにより、年間約7.7万トンのCO₂排出量を削減する見通しで、これは平均的な家庭からの排出量*3の20624世帯分に相当します。

DICグループは、「2050年度カーボンネットゼロ」の実現を目指し、今後も引き続き省エネ性の高い設備の積極的な導入、省エネ活動の推進、条件の適した拠点への再生可能エネルギーの導入などCO₂排出量削減に向けた取り組みを加速していきます。



ZEB*4工法を取り入れたDIC九州ポリマ事務棟

*1 グリーン電力とは、再生可能エネルギーによって発電される電力です。

*2 非化石証書とは、再生可能エネルギーで発電された「環境価値」を証書として取り引きをする仕組みです。

*3 日本の温室効果ガス排出量データ（2023年4月21日公表、国立研究開発法人 国立環境研究所）

*4 「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）」とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

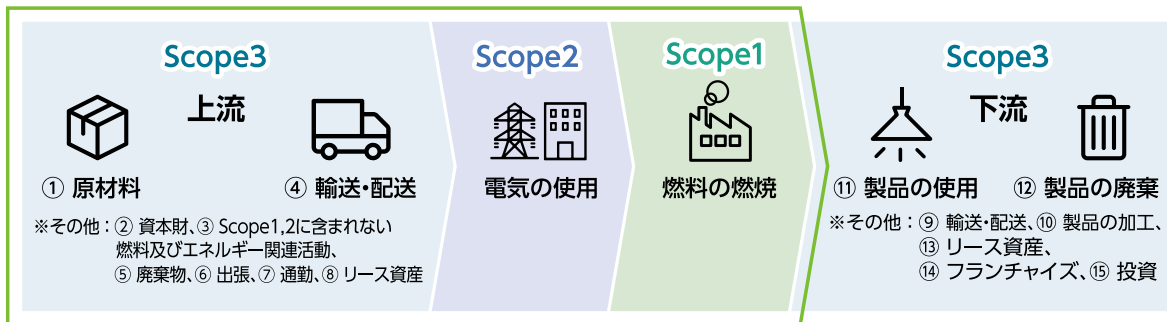
2 ～製品カーボンフットプリント（PCF）の提供を始めています～

温室効果ガス（GHG）と企業活動との関連は、自社での直接排出（Scope1）と間接排出（Scope2）、上流と下流での排出（Scope3）で表現されます。そのうち、PCFは、下図の緑線枠で示した部分、すなわち粗原料（原油掘削等）から、製品を製造して工場から出荷されるまでの、全てのプロセスで排出されたGHGについて、各GHGガスに固有の地球温暖化係数（GWP）を乗じてCO₂相当量に換算した数値（CO₂e）の総和を、製品単位数量当たりの数値で表します。

DICグループのPCFは、得られる総和を、対象とする製品の総重量で除した形で提供しています。例えば、500kgの製品を製造する際に、総GHG排出量が100kgCO₂であった場合は、

$$100\text{kgCO}_2\text{e}/500\text{kg} \Rightarrow 0.2\text{kgCO}_2\text{e}/\text{kg}$$

として提供しています。DICグループはグローバルで推奨されているガイドラインに則って計算しています。

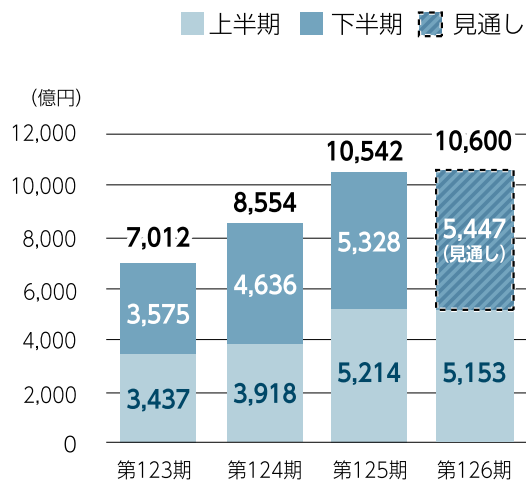


○の数字はScope3のカテゴリ

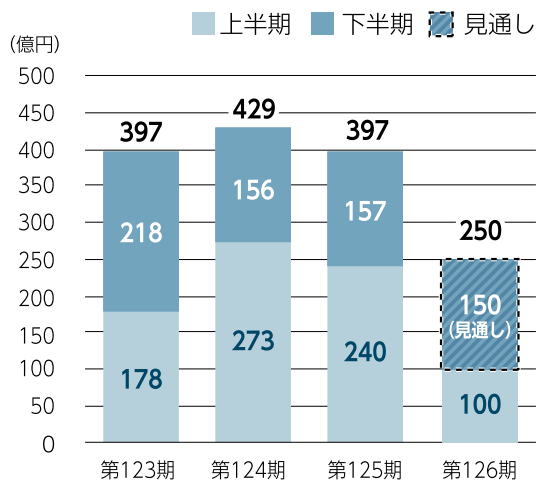
環境省 サプライチェーン排出量 概要資料(2023年3月16日)より一部改変

連結業績ハイライト

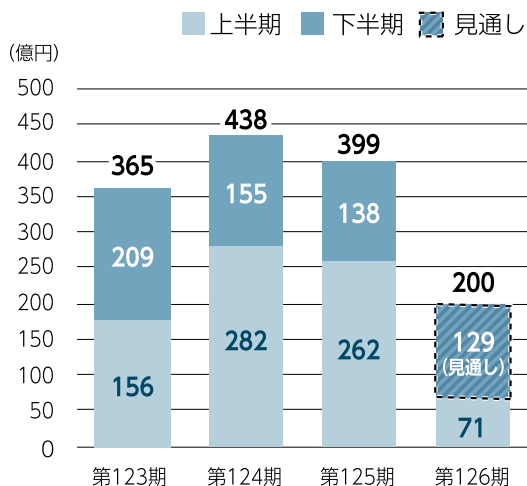
売上高



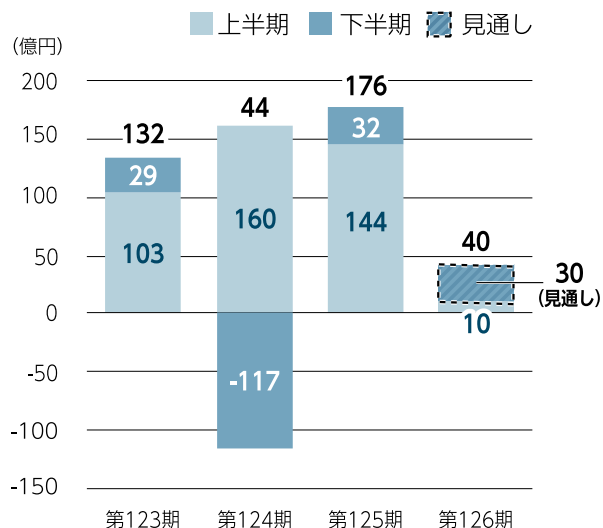
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



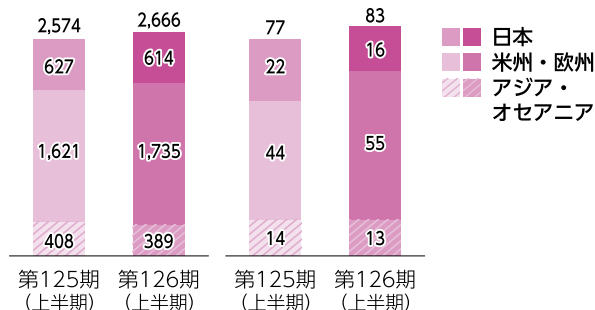
セグメント別業績

(単位：億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第2四半期 連結累計 会計期間	当第2四半期 連結累計 会計期間	前年同期比		前第2四半期 連結累計 会計期間	当第2四半期 連結累計 会計期間	前年同期比	
				現地通貨 ベース				現地通貨 ベース
パッケージング& グラフィック	2,574	2,666	+ 3.5%	△1.3%	77	83	+ 7.7%	+ 6.8%
カラー & ディスプレイ	1,339	1,178	△12.0%	△17.9%	78	△ 1	赤字化	赤字化
ファンクショナル プロダクツ	1,532	1,494	△2.5%	△4.6%	133	67	△50.0%	△51.8%
その他、全社・消去	△ 231	△ 185	—	—	△ 48	△ 48	—	—
計	5,214	5,153	△1.2%	△5.5%	240	100	△58.4%	△58.3%

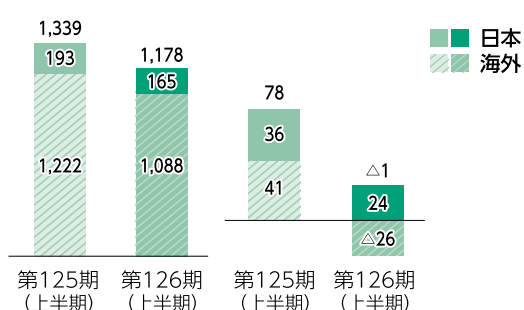
パッケージング&グラフィック

● 売上高 (億円) ● 営業利益 (億円)



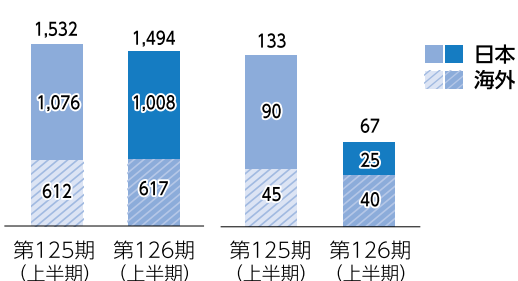
カラー&ディスプレイ

● 売上高 (億円) ● 営業利益 (億円)



ファンクショナルプロダクツ

● 売上高 (億円) ● 営業利益 (億円)



※グラフの数値にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と必ずしも一致しません。

セグメント別業績の概要

パッケージング & グラフィック

Packaging & Graphic

上半期売上高

2,666億円

前年同期比 +3.5%

上半期営業利益

83億円

前年同期比 +7.7%



【売上高増減要因】

- ・ パッケージ用インキ: 物価上昇の影響で各地域で出荷数量減少も価格対応でほぼ前年並
- ・ 出版新聞用インキ: 各地域で価格対応に努めたが、米・欧・アジアで需要減少や価格競争により数量が落ち込み減収
- ・ ジェットインキ: 米国や欧州でインフレや金利情勢を背景に、海外顧客中心に在庫抑制のため需要が落ち込み減収
- ・ 円安による為替換算影響により、セグメント全体として増収を確保

【営業利益増減要因】

- ・ 国内: 高付加価値製品のジェットインキの売上減少、パッケージ用・出版用インキのコスト増への価格対応が追いつかず減益
- ・ 海外: 特に米州や欧州でパッケージ用・出版用インキの価格対応に努め、全体として増益

カラー & ディスプレイ

Color & Display

上半期売上高

1,178億円

前年同期比 △12.0%

上半期営業利益

△1億円

前年同期比 赤字化



【売上高増減要因】

- ・ 塗料用顔料とプラスチック用顔料: 欧州の景気減速と顧客の在庫抑制から出荷数量が落ち込み
- ・ カラーフィルタ用顔料: パネルメーカーの在庫調整が進展したことにより、需要が回復し増収
- ・ 化粧品用顔料: 米欧で景気停滞を背景に出荷が伸び悩みも、脱マスクの動きによりアジア需要は回復
- ・ スペシャルティ顔料: 農業向けは顧客の在庫調整により伸び悩み、建築向けもウクライナ情勢の長期化で欧州での出荷が落ち込み

【営業利益増減要因】

- ・ カラーフィルタ用顔料は回復
- ・ 塗料用・プラスチック用顔料の出荷が欧州を中心に落ち込み
- ・ 高付加価値製品のスペシャルティ用顔料の出荷が停滞

ファンクショナルプロダクツ

Functional Products

上半期売上高

1,494億円

前年同期比 △2.5%

上半期営業利益

67億円

前年同期比 △50.0%



【売上高増減要因】

- ・ エポキシ樹脂: 半導体の市況低迷で減収
- ・ 工業用テープ: 主用途のモバイル機器向けが不調で減収
- ・ アクリル樹脂、ウレタン樹脂: 自動車向けサプライチェーンの余剰在庫解消までのタイムラグにより出荷減少
- ・ PPSコンパウンド: 自動車向けは出荷が回復途上も、価格対応などにより増収

【営業利益増減要因】

- ・ コスト増加分の価格対応に努めたが、電気・電子やモビリティ関連高付加価値製品の出荷落ち込みにより大幅な減益

連結財務諸表等

連結貸借対照表（要約）

2023年6月30日現在

(単位：億円)	
科 目	金 額
流動資産	6,877
有形固定資産	3,815
無形固定資産	945
投資その他の資産	1,776
資産合計	13,413
流動負債	3,896
固定負債	4,964
負債合計	8,860
株主資本	4,081
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	120 (233)
非支配株主持分	351
純資産合計	4,552
負債純資産合計	13,413

連結損益計算書（要約）

2023年1月1日～2023年6月30日まで

(単位：億円)	
科 目	金 額
売上高	5,153
売上原価	△ 4,206
販売費及び一般管理費	△ 847
営業利益	100
金融収支	△ 24
持分法投資損益	9
為替差損益	△ 10
その他	△ 3
経常利益	71
特別利益	5
特別損失	△ 23
税金等調整前四半期純利益	53
法人税等	△ 40
四半期純利益	13
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 3
親会社株主に帰属する四半期純利益	10

連結キャッシュフロー計算書（要約）

2023年1月1日～2023年6月30日まで

(単位：億円)	
科 目	金 額
営業キャッシュ・フロー	72
投資キャッシュ・フロー	△ 452
フリーキャッシュ・フロー	△ 380
財務キャッシュ・フロー	471
現金及び現金同等物に係る換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額	99
現金及び現金同等物の期首残高	626
現金及び現金同等物の期末残高	725

DIC企業ブランドCM 新シリーズ「化学を越えろ。」を放送中

当社では、吉岡里帆さんを起用した企業ブランドCM「DIC岡里帆(ディーアイシーおか・りほ)」シリーズ第4弾を現在放送しています。今回は、「化学を越えろ。」をスローガンに、研究室から街に飛び出し、未来を担う世代の若者と語り合うストーリーを展開しています。



「化学を越えろ。」篇

同じ未来を目指す、世界中の仲間と、化学の領域にとどまらない価値の創造に挑戦することを宣言しています。



「近赤外線コントロール黒顔料」篇

黒いのに熱くなりにくい、黒色の弱点を克服した近赤外線コントロール黒顔料のサステナブルな魅力を熱く語ります。

DIC岡里帆の研究室

特設ウェブサイト「DIC岡里帆の研究室」では、遮熱やセンシングの機能でサステナブルな社会に貢献する画期的な新製品について、気鋭のプロダクトデザイナーと技術者が語る対談コンテンツ「DIC岡里帆式クロストーク」を公開しています。下記のQRコードよりぜひご覧ください。

<https://www.dic-global.com/ja/dic-oka/>

QRコード ▶



<番組提供情報>

番組名：テレビ東京「出川哲朗の充電させてもらえませんか？」

放送日時：毎週土曜日 19:54~20:54

(2023年8月現在)

DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連会社とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、コレクションと関連性のある作家やその時代を取り上げながら、コレクションへの理解を深めるための企画展を年に数回開催しています。

美術館の展示情報

企画展 ジョセフ・アルバースの授業 色と素材の実験室

2023年7月29日(土)～11月5日(日)

ジョセフ・アルバースは画家、デザイナー、そして美術教師としてドイツとアメリカで活動しました。彼は授業の目的を「目を開くこと」とし、学生が実際に手を動かして考え、試行錯誤することで、色彩や素材のもつ新しい可能性を自ら発見させようとしたのです。そしてアルバース自身も生涯にわたり探求を続け、ガラス作品から家具や食器などのデザイン、絵画シリーズ〈正方形賛歌〉に至る多様な作品を生み出しました。本展では彼の作品を、彼の授業をとらえた写真・映像や、学生の作品とともにご紹介します。制作者／教師という両側面からアルバースに迫る、日本初の回顧展です。

イェール大学で色彩の授業を行うアルバースと学生
1952年 撮影者不詳 ジョセフ&アニ・アルバース財団
Courtesy of the Josef and Anni Albers Foundation



※ 企画展開催中もコレクション展示をご覧ください

開館時間：9:30～17:00 (最終入館16:30)

休館日：月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日に休館)、年末年始、展示替え・メンテナンス期間

所在地：千葉県佐倉市坂戸631

交通：
・お車で → 東関東自動車道「佐倉IC」から約5km、無料駐車場160台完備
・電車+送迎バスで → JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス(JR佐倉駅 → 約20分/京成佐倉駅 → 約30分)
・高速バスで → 東京駅八重洲北口の京成バス3番乗り場から1日1往復運行、片道約60分(2023.7.30付確認現在)

お問い合わせ：展覧会の詳細など、最新情報はウェブサイトでお知らせしています。

<https://kawamura-museum.dic.co.jp> TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

QRコードからの
アクセスはこちら



会社概要・株主メモ

■ 会社概要

— 2023年6月30日現在 —

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本社	〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日(1908年)
設立	昭和12年3月15日(1937年)
従業員数	連結22,819名 <単体3,927名>
株式の状況	発行する株式の総数 150,000,000株 発行済株式の総数 95,156,904株 株主数 46,924名 1単元の株式の数 100株

■ 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 042-204-0303 (通話料有料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

URL <https://www.dic-global.com/>

株主優待制度

保有株式数*	優待内容	基準日*
100株以上	DICオリジナルカレンダー1部	6月30日
	DIC川村記念美術館入館券付絵葉書2枚(2人/枚)	12月31日
	DICグループ製品	

*「基準日」現在に株主名簿に記載または記録された「保有株式数」の株式を保有する株主様に一律贈呈します。

■ 株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

<主な支払調書>

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先

- ・証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社に問い合わせください。
- ・証券会社とのお取引がない株主様
左記に記載の三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部にお問い合わせください。

【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

本冊子のデザインはユニバーサルデザインフォントを使用し、
印刷には VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの環境にやさしい
DIC グラフィックス株式会社の100%植物油型インキ「ナチュラリス100」を使用しています。



Color & Comfort

<https://www.dic-global.com/>